

赤潮情報第52号

(八代海：カレニア ミキモトイ、シャットネラ属、ココロディニウム警報 続報)

熊本県水産研究センター 浅海干潟研究部
TEL0964-56-2613 FAX56-4533

カレニア ミキモトイが最大11000細胞、嚴重な警戒が必要です。

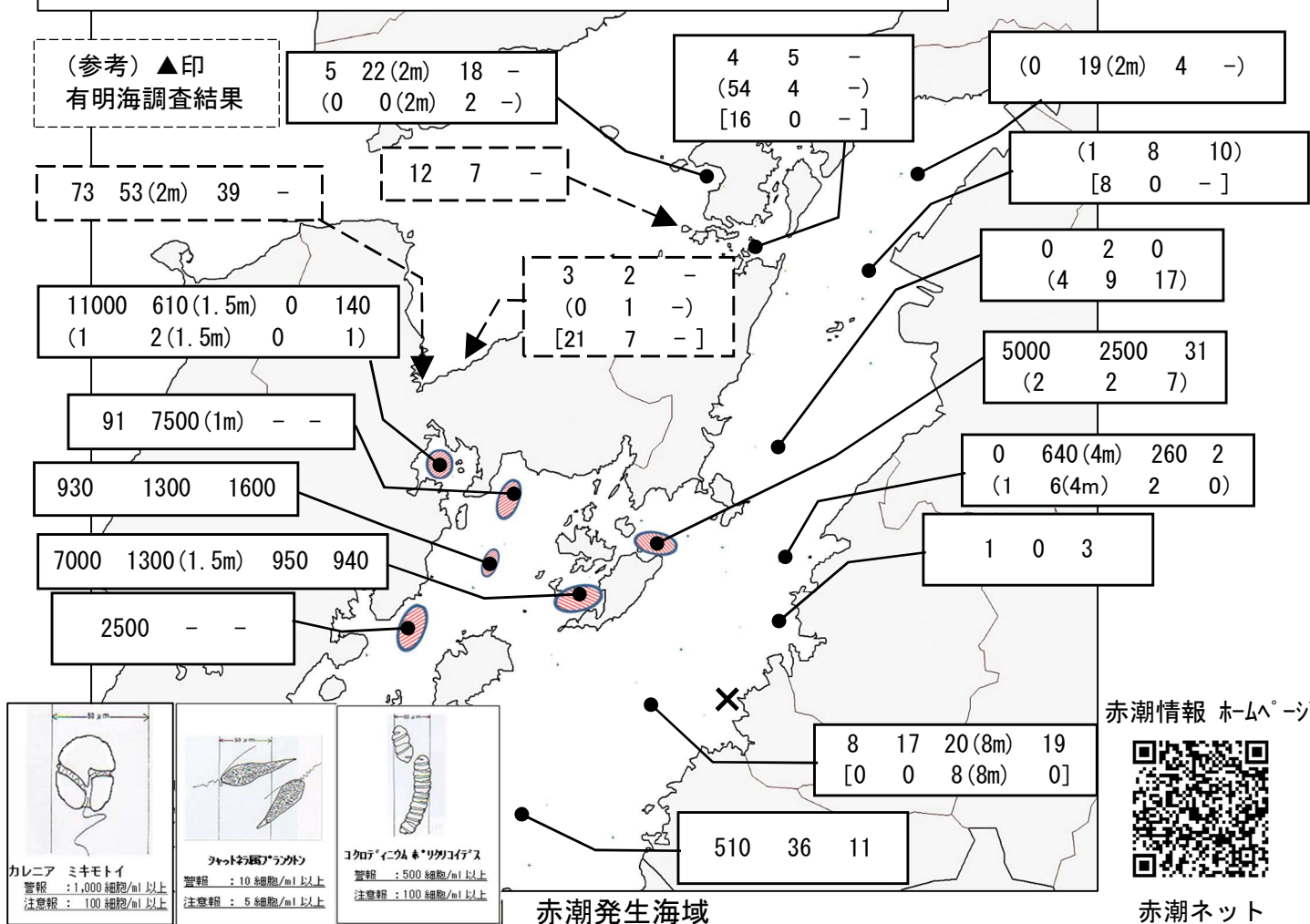
本日、熊本県と天草市、漁業者グループが調査したところ、カレニア ミキモトイが海水1mL 当たり**最大11000細胞** 確認されました。楠浦、御所浦、栖本、新和の各地先で非常に高い細胞数が確認されており、被害が拡大するおそれがあるため、嚴重な警戒が必要です。

シャットネラ属は、最大54細胞確認されました。八代海の細胞数は減少傾向にありますが、今後の海況によっては再び増殖するおそれがありますので、引き続き警戒が必要です。

ココロディニウムは、最大16細胞確認されました。

カレニア ミキモトイは有害で、魚類や貝類などをへい死させる恐れがありますので、周辺海域で養殖・蓄養をされている場合は、**餌止めや粘土散布、状況に応じて緊急出荷等の対策**を行うとともに、海の色の変化や養殖魚等の状態に注意してください。

※数字は左から順にカレニア ミキモトイの水深0m, 5m, 10m層の海水1mL 当たりの細胞数です。
()の数字はシャットネラ属。[]の数字はココロディニウム。



赤潮情報 ホームページ



赤潮ネット



※ ×印: 全ての採水層でカレニア ミキモトイとシャットネラ属とココロディニウムが0細胞

※ はカレニア ミキモトイによる着色域です

調査結果については、赤潮情報 ホームページや赤潮ネットでも確認できますので、ご利用ください
(ホームページの更新に時間を要する場合があります)。

赤潮情報 ホームページ <https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/95/1794.html>

赤潮ネット https://akashiwo.jp/public/kaiku/lnit.php?qkaiku_id=1&sid=1